

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	山形県鶴岡市立大山小学校
授業者	6年担任：佐藤 わか、金丸 栄佑

### 1. 単元計画

#### 1-1. 単元名

地域のことを調べよう ～学ぼう 伝えよう ふるさとのこと 10年後の大山・加茂について～

#### 1-2. 学年

第6学年

#### 1-3. 教科

総合的な学習の時間、社会科、国語科

#### 1-4. 単元の概要

- ・総合的な学習の時間を中心とした「キャリア教育」として計画  
加茂地区も含めた大山小学区の地域の歴史について、個人テーマでの探求学習。  
調べたことをもとにしたパネルディスカッションも実施する。  
見学などでは、外部講師を招き、大山と加茂をつなぐ古道の話や北前船の歴史についても学習する。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

地域のことについて、テーマを設定して調べ、伝えていく活動を通して、地域の特色である「海」と人々の生活との関わりや港町の文化や歴史にも触れ、1-6の資質・能力・態度を育てるとともに、ふるさとへの愛着を育てていく。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

##### ◇知識・技能

- ・地域の魅力を調べ、伝える活動を通して、自分たちの地域には素晴らしいところがたくさんあることに改めて気づき、地域の魅力を発信する。


##### ◇思考力・判断力・表現力

- ・地域を見つめ直すことの大切さを知り、大山・加茂の宝である自然と歴史について深く学ぼうという思いを持つ。
- ・港町で生活したり、働いている人々の姿を見たり、話を聞いたりするなどして、地域の場所や地域の人、それらが自分とどのように関わっているかを考える。

##### ◇学びに向かう人間性

- ・自然や文化と人々との関わりに関心や興味を持ちながら、活動しようとする。
- ・地域の場所や人々への親しみや愛着を持って、それらを大切にしようとする。

1-7. 単元の展開（全26時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ～ 3	<p>総合的な学習の時間・社会</p> <p>○大山・加茂の現状（良い点・改善点）を押さえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を見つめ直すことの大切さを知り、大山・加茂の宝である自然と歴史について深く学ぼうという思いを持つ。</li> <li>・コミセンの職員の方から大山地区・加茂地区の良さについてのお話をいただき、同時に改善したい点があることにも気づく。</li> <li>・地域に観光客を呼ぶ取り組みを考え、自分たちにできることを考え、行政に発信しようという目的を持つ。</li> </ul>	<p>◆学習活動の大きな流れの確認</p> <p>◆コミセンの方から大山地区、加茂地区の地域の現状についてのお話を聞く。</p> <p>◇活動を見通し、自分なりにめあてを持つことができたか。</p>
4 ～ 13	<p>総合的な学習の時間・学校行事</p> <p>○他地域の工夫について知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行の訪問先である街には、酒田：「獅子」、米沢：「上杉」など、それぞれ推しがあることを知る。</li> </ul>	<p>◆修学旅行の活動プログラムに沿った指導・支援。</p> <p>◇自分たちの地域と比較しながら見学し、これからの活動のテーマのもとになるものを見つけることができたか。</p>
14 ～ 18	<p>総合的な学習の時間</p> <p>○地域の魅力として発信したいテーマについて調べる。</p> <p>見学については、校外学習として実施。</p>	<p>◆地域の歴史に詳しい方を講師として招き、港町の歴史や大山と加茂をつなぐ古道についても教えていただく。</p> <p>◇興味・関心を持ちながら活動することができたか。</p>
18 ～ 26	<p>総合的な学習の時間・国語</p> <p>○テーマ毎に、自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが住む地域「大山・加茂」の魅力を伝えるために、自分たちにできることを考え、伝えるためにまとめる。</li> </ul> <p>○伝えるためにパネルディスカッションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域をよくしたい」という同じ思いを持つ様々なグループからの意見について話し合う。</li> <li>・地域をよくしたいという思いやそれぞれの企画をコミセンの方や保護者に向け発信する。</li> </ul>	<p>◆各グループのテーマに関する資料</p> <p>◆インターネット</p> <p>◆コミセン・保護者の方々の協力。</p>  <p>◇自分の考えが相手に伝わるような工夫がみられるか。</p>

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ

単元 26 時間中の 14~18 時間目

### 2-2. 本時の目標

港町の歴史と文化に触れ、そこで生活する人々の姿を見たり、話を聞いたりするなどして、地域の場所や地域の人、それらが自分とどのように関わっているかを考え、ふるさとのために自分ができることを考えようという意欲を持つ。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 見学のねらいの確認</li> <li>2 学校→バスで移動</li> <li>3 地域歴史研究家の方のガイドで見学                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂地区を歩いて回り、見学する場所で説明を聞き、質疑応答。</li> </ul> </li> </ol>	 
<ol style="list-style-type: none"> <li>4 学校に戻り、活動のふり振り返り</li> <li>5 個人テーマの決定</li> </ol>	 

### 3. 今回の活動の自己評価

成果○ 課題▼

- 事前に、大山・加茂のコミセンの方々に地域の現状と改善したい点についての話をいただいたことで、自分たちが地域のためにできることを考える際の具体的なイメージを持ちやすくなった。
- 外部講師（地域歴史研究家）にガイドしていただいたことが児童の意欲につながっていた。

### 4. 今後の課題

- ・どの活動にも共通することではあるが、持続可能な教育活動にしていくための、仕組み作りをしながらスムーズに、かつ、効果的に実施を続けていくことができるようにしていくことが大切だと考える。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- キャリア教育の視点も意識しながら、各教科の単元や教材を組み合わせた単元構成。
- 今まで実施してきた海洋教育を地域のために役立てていこうという社会参画意識につなげていきたいという思いをこめた単元作りになっている。